

キリストのからだ

ホープ・チャペル所沢

第一コリント人への手紙 12:12-31

「あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとは各器官なのです。そして、神は教会の中で人々を次のように任命されました。すなわち、第一に使徒、次に預言者、次に教師、それから奇蹟を行なう者、それからいやしの賜物を持つ者、助ける者、治める者、異言を語る者などです。」（第一コリント12:27-28、新改訳）

序文

夏の休暇中に私が読んだ、もう一冊の本は、ドン・カズンズ師が書いた「リーダー・シフト」(Cook出版 2008 年)です。その中で著者は教会のリーダーシップについての一般的な 4 つの間違いを指摘していました。成功の定義、教会奉仕の正しい動機、賞賛や非難に値すべき人、組織の持つべき価値とあるべき場所についてです。私たちがここホープ・チャペル所沢でしようとしていることは、彼の主張している 4 番目の部分にあたります。私たちはエペソ 4:11 のように聖徒を整える人々に、リーダーシップと権限を委ねることに取り組んでいます。

1. 一致は聖霊様によってもたらされます。 (12-13 節)

ア) 一致のあるキリストのからだとして、聖霊様は私たちに様々な賜物や役割、また能力を与えられました。

イ) この聖霊様にある一致は、すべての社会的な地位（人種・経済力・性別）に勝ります。

2. キリスト・イエスにあって私たちがひとつにして下さる神様の目的。 (12-26節)

ア) 互いにつながり、必要とし合うように神様は私たちがひとつにして下さいました。

イ) 互いに尊敬、尊重し、いたわり合うために、神様は私たちがひとつにして下さいました。

3. 神様から与えられたメンバーシップ、機能、そして権限について。 (27-31節)

ア) 神様はキリストのからだの一部として、それぞれの働きの為に、ある人達を指導者、そしてある人達を奉仕者に任命されました。

イ) 神様によりいっそう用いられ、もっと人の祝福になりたいと願うことは良い事です。

結論

私や皆さんが共に係わりを持っているのは、ただの偶然や運命によるものではなく、神様ご自身の御心とご計画によって、私たちが一つにされたからなのです。

私たちの祈りと学び、話し合いと実践のために：

1. 18～26 節は、どのようにあなたに当てはまりますか。
2. 27～28 節にみられる神の組織と皆さんの教会を比較しましょう。
3. パウロが 27～31 節で語っている「よりすぐれた賜物」とはいったい何でしょうか。